

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

文化スポーツ部・健康福祉部・教育委員会

事業名	子どもの未来を守る事業費		
予算額	3,091,860千円 (うち2月補正782,214千円)	新規・継続の別	一部新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、子どもの未来を守る施策を推進する。		
	2 内容 (単位：千円)		
	事項	内容	事業費
	○「家庭の養育力」を高め、未来を守る		
	私立高等学校あんしん修学支援事業(一部)	・修学の意志のある私立高校生が安心して勉学に打ち込めるよう修学費用負担を軽減	1,394,565
	ひとり親家庭自立支援事業<一部2月補正>【新規】	・養成機関において資格取得を目指すひとり親への入学準備及び就職準備に要する資金貸付制度を創設	420,600
	母子父子寡婦等資金貸付金【拡充】	・母子父子寡婦世帯への経済的助成のため貸付を実施(修学資金の貸付限度額を1.5倍に増額)	450,188
	○「学校の教育力」で未来を守る		
	京都市「学力向上教育サポーター」事業<一部2月補正>【新規】	・京都市「効果のある学校」推進事業 ・子どもの学習・生活支援プラットフォーム事業	131,905
	小学生個別補充学習実施事業【拡充】	・学習のつまずきを解消するため、小学4、5年生で補充学習を実施	10,000
	府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業	・府立高校の中退を防止するため、学力課題のある生徒を対象に個別指導を実施	1,000
	特別支援学校「職業学科」設置事業【新規】	・職業的自立の促進に向け、城陽支援学校に職業学科設置のための教材等の整備	5,000
	特別支援教育充実事業等	・発達障害のある児童生徒等に対する教員配置等の支援体制を整備	258,791
	○「地域力」で未来を守る		
	ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業<一部2月補正>【拡充】	・ひとり親家庭等の子と親が集うことができる居場所の整備、「親」を対象の学び直し支援	62,435
子どもの未来づくりサポーター活動支援事業【新規】	・若い世代が主体となった子どもの貧困対策に係る取組に対する支援制度を創設	2,000	
地域未来塾開設支援事業【拡充】	・地域の協力による中学生対象の原則無料の学習支援	6,726	
不登校児童生徒支援モデル事業<2月補正>【新規】	・フリースクール等で学ぶ不登校児童生徒の支援や適応指導教室の設置・機能拡充を支援	28,000	
施設等入所児童社会生活自立支援事業<一部2月補正>【新規】	・児童養護施設等と連携し、入所中から退所後を通じた児童の生活や就労に関する支援を実施するとともに、生活基盤の安定のための貸付事業等を実施	320,650	
計		3,091,860	
担当課名	文 教 課 経 営・教育支援担当 家 庭 支 援 課 家 庭 福 祉 担 当 家 庭 支 援 課 母 子・父 子 担 当 教 職 員 課 人 事 担 当 学 校 教 育 課 指 導 第 1 担 当 学 校 教 育 課 指 導 第 2 担 当 学 校 教 育 課 人 権 教 育 室 特 別 支 援 教 育 課 指 導 推 進 担 当 高 校 教 育 課 指 導 第 2 担 当 社 会 教 育 課 振 興 担 当	電話番号	075-414-4516 075-414-4582 075-414-4584 075-414-5799 075-414-5842 075-414-5840 075-414-5822 075-414-5835 075-414-5852 075-414-5884

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	府立学校施設整備費		
予算額	2,735,977千円	新規・継続の別	継続
事業内容 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 府立学校耐震強化対策費 796,906千円 【詳細 資料2-1、2-2】</p> <p>2 新設特別支援学校整備推進費 62,371千円 【詳細 資料2-3】</p> <p>3 府立学校校舎等整備費 1,476,700千円 (㊸~㊻債務負担行為額 3,483,000千円)</p> <p>(1) 鴨沂高校校舎等整備費 (1,456,000千円) 【詳細 資料2-4】</p> <p>(2) 校舎等整備費(南山城支援学校) (15,900千円) 児童生徒数の増加に対応し、教育環境の充実を図るための 施設整備を実施(給食調理施設の拡張工事)</p> <p>(3) 校舎等整備費(舞鶴支援学校) (4,800千円) 移転のため廃校とする舞鶴支援学校北吸分校の既存校舎解体 [㊸設計、㊹解体工事(予定)]</p> <p>4 府民公募型整備事業費 100,000千円 府民からの安心・安全などにつながる提案により、公共事業を実施することで、身近な公共施設の整備を推進</p> <p>5 老朽校舎等改修費 300,000千円 老朽化した学校施設の改修工事等を実施</p>		
担当課名	管理課 管理担当	電話番号	075-414-5768

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	府立学校耐震強化対策費								
予算額	796,906千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的</p> <p>学校は、子どもたちの学びの場であるとともに、災害時には子どもの命を守るだけでなく地域の防災拠点となることから、早期の耐震化を図る</p> <p>2 事業概要</p> <p>残る13校18棟の耐震化を図り、28年度中に耐震化率100%を達成する。</p> <p>ポイント</p> <table border="0"> <tr> <td>平成27年4月1日現在の耐震化率</td> <td>93.5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成28年度末の耐震化率（見込み）</td> <td><u>100%</u></td> </tr> </table>			平成27年4月1日現在の耐震化率	93.5%	↓		平成28年度末の耐震化率（見込み）	<u>100%</u>
平成27年4月1日現在の耐震化率	93.5%								
↓									
平成28年度末の耐震化率（見込み）	<u>100%</u>								
担当課名	管理課 管理担当	電話番号	075-414-5768						

平成 28 年度耐震補強工事等実施校一覧

(単位：千円)

区分	学校名	実施箇所	面積 (㎡)	予算額
耐震補強	洛東高校	普通教室棟	1,503	51,772
	北嵯峨高校	特別教室棟、実験室棟、渡り廊下	3,197	93,337
	北桑田高校	食堂棟 (寮)	204	36,480
	桂高校	生徒会館、教室棟	2,341	100,306
	向陽高校	体育館	987	65,596
	城南菱創高校	体育館	977	41,666
	久御山高校	体育館	1,170	42,855
	田辺高校	教室棟 2 棟、武道場	3,437	105,494
	農芸高校	普通特別教室棟	1,195	48,271
	福知山 三和分校	管理教室棟	1,175	65,926
	東舞鶴 浮島分校	家庭工芸棟	810	35,619
	宮津高校	体育館	951	52,394
	加悦谷高校	教室棟	519	38,990
	小計 13校 18棟			
関連	鳥羽高校	仮設校舎撤去に伴う環境整備		18,200
耐震強化対策費 合計				796,906

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	新設特別支援学校整備推進費													
予算額	62,371千円	新規・継続の別	継続											
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的 山城地域の特別支援学校における児童生徒の急増に対応するため、井手町と連携協力のもと、特別支援学校を新設する。</p> <p>2 事業概要 特別支援学校新設に係る校舎基本設計等を行う。</p> <p>3 事業計画</p> <p>(1) 建設予定地 綴喜郡井手町大字井手小字大塚他 (2) 設置学部等 小学部、中学部、高等部（知的障害・肢体不自由） (3) 児童生徒数 200人程度 (4) 開校時期 平成32年4月（予定）</p> <table border="1" data-bbox="400 1323 1433 1767"> <thead> <tr> <th>年次計画</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>地質調査・造成設計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平成28年度</td> <td>校舎基本設計、埋文調査</td> </tr> <tr> <td>用地取得、造成工事</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>造成工事、校舎実施設計</td> </tr> <tr> <td>平成30、31年度</td> <td>造成工事、校舎建設工事</td> </tr> </tbody> </table>			年次計画	概要	平成27年度	地質調査・造成設計	平成28年度	校舎基本設計、埋文調査	用地取得、造成工事	平成29年度	造成工事、校舎実施設計	平成30、31年度	造成工事、校舎建設工事
年次計画	概要													
平成27年度	地質調査・造成設計													
平成28年度	校舎基本設計、埋文調査													
	用地取得、造成工事													
平成29年度	造成工事、校舎実施設計													
平成30、31年度	造成工事、校舎建設工事													
担当課名	管理課 管理担当 特別支援教育課 企画調整担当	電話番号	075-414-5768 075-414-5834											

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	府立学校施設整備費 (鴨沂高校校舎等整備費)											
予算額	1,456,000千円	新規・継続の別	継続									
事業内容 (目的) (対象) (方法等)	<p>1 目的 鴨沂高校施設について、一部改築・一部改修による耐震化を図り、安心・安全な教育環境を整備するとともに、歴史と伝統を活かした京都らしい高校としてリニューアル整備</p> <p>2 施設整備方針・概要 明治5年創立の「新英学校及び女紅場」から受け継ぐ伝統と歴史を継承し、多様なニーズに応える教育活動が実践できる学校として、新しい教育システムへの対応及び安心安全な教育環境と歴史的・文化的価値の継承の両立を実現</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>保存改修校舎：約 3,500㎡ (本館棟、旧図書館棟) 新築校舎：約 6,700㎡ (校舎棟・駐輪場等) 体育施設：約 8,500㎡ (屋内体育施設(アリーナ、格技場、プール) 多目的コート、グラウンド)</p> </div> <p>①多様なニーズに応える教育活動を実現する新しい施設 ・習熟度別授業が可能となる、少人数教室や多目的教室を各階に配置 ・図書室を中心に学習メディアセンターを配置し、学習支援機能を充実 ・水泳競技(水球・シンクロ等)の拠点校として、温水プールを整備</p> <p>②歴史的・文化的価値の継承 ・外観意匠及び内部空間が特徴的な本館棟の保存・改修 ・九条家ゆかりの正門、旧図書館の保存・改修を通して、寺町通からの景観に配慮</p> <p>③環境・災害対応、安心・安全な教育環境 ・保存校舎は改修により耐震性を確保し、スロープ・エレベーター等によるバリアフリー化、新築校舎は自然の風や光を取り入れた建物形状に配慮</p> <p>3 事業計画 敷地の土壌汚染対策のため、次のとおり年次計画を変更した。 なお、工事完成は平成30年夏頃の予定。</p> <table border="1" data-bbox="400 1594 1433 1944" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年 度</th> <th style="width: 45%;">平成25～27年度</th> <th style="width: 40%;">平成28～30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概 要</td> <td style="text-align: center;">設計、埋蔵文化財調査 既存建物解体、改築等工事 仮校舎借用</td> <td style="text-align: center;">埋蔵文化財調査 改築等工事(土壌改良含む) 仮校舎借用</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: center;">1,142,146千円</td> <td style="text-align: center;"> ²⁸ 1,456,000千円 【債務負担行為】 ²⁹～³⁰ 3,483,000千円 <small>※備品整備・移転費等は含まず</small> </td> </tr> </tbody> </table>			年 度	平成25～27年度	平成28～30年度	概 要	設計、埋蔵文化財調査 既存建物解体、改築等工事 仮校舎借用	埋蔵文化財調査 改築等工事(土壌改良含む) 仮校舎借用	事業費	1,142,146千円	²⁸ 1,456,000千円 【債務負担行為】 ²⁹ ～ ³⁰ 3,483,000千円 <small>※備品整備・移転費等は含まず</small>
年 度	平成25～27年度	平成28～30年度										
概 要	設計、埋蔵文化財調査 既存建物解体、改築等工事 仮校舎借用	埋蔵文化財調査 改築等工事(土壌改良含む) 仮校舎借用										
事業費	1,142,146千円	²⁸ 1,456,000千円 【債務負担行為】 ²⁹ ～ ³⁰ 3,483,000千円 <small>※備品整備・移転費等は含まず</small>										
担当課名	管理課 高校教育課	管理担当 高校改革担当	電話番号 075-414-5768 075-414-5853									

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	子どものための京都式少人数教育推進費																		
予算額	8,114,988千円	新規・継続の別	継続																
事業内容	<p>1 目的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。</p> <p>2 内容 (1) 京の子ども・少人数教育推進費</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>予算額</td> <td>7,600,510千円</td> </tr> </table> <p>○小学校3～6年生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置 ○配置した定数を活用し、市町村教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・チームティーチング・少人数学級を選択して実施</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>少人数授業</td> <td>児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開</td> </tr> <tr> <td>チームティーチング</td> <td>学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開</td> </tr> <tr> <td>少人数学級</td> <td>市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制</td> </tr> </table> <p>中学校少人数教育推進費</p> <p>○全ての中学校で35人を超える学級規模の解消 又は ○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能</p> <p>(2) 小学校低学年指導充実費</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td rowspan="2">配置学級数</td> <td>1年</td> <td>約240学級</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>約220学級</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>514,478千円</td> </tr> </table> <p>○小学校1・2年生で、2人の教員による指導を実施 ○配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用</p>			予算額	7,600,510千円	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開	チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制	配置学級数	1年	約240学級	2年	約220学級	予算額		514,478千円
予算額	7,600,510千円																		
少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開																		
チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開																		
少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制																		
配置学級数	1年	約240学級																	
	2年	約220学級																	
予算額		514,478千円																	
目的 対象 方法等																			
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第1担当	課・担当 電話番号	075-414-5799 075-414-5833																

子どものための京都式少人数教育推進費

「まなび教育推進プラン」の重点施策の具体化のため、小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能となるよう少人数教育を充実

小1・小2の35人学級の実施
(継続)

小学校

1年

2年

小学校低学年指導充実費
(継続)

予算額 514,478千円
(27 504,588千円)

○授業等に集中できなかったり、教員との関わりを強く求める小学1、2年生で2人の教員による指導を実施

京の子ども・少人数教育推進費

次の3つから
市町村が選択

少人数授業

子どもの興味・関心や習熟の程度などによって、特定の教科で学級の枠を超えた20人程度のグループで指導

チームティーチング

1クラスを2人の教員が協力して指導

少人数学級

40人未満の人数で学級を編制

小学校

3年

4年

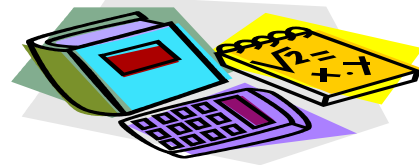
5年

6年

京の子ども・少人数教育
推進費 (継続)

予算額 7,600,510千円
(27 7,600,510千円)

○30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を実施



中学校

1年

2年

3年

【再掲】
中学校少人数教育推進費
(継続)

予算額 195,000千円
(27 195,000千円)

○35人を超える学級規模の解消
又は
○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	特別支援教育充実事業費		
予算額	224,883千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的 小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備などを先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小・中学校における特別支援教育の充実を図る。 ※発達障害：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 教員配置 発達障害のある児童生徒に対して、学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、退職教員等を非常勤講師として100名程度配置</p> <p>(2) 配置効果 ○特別支援教育コーディネーターの活動（教育相談や関係機関との連携等）時間の確保 ○児童生徒一人一人の指導計画・教育支援計画の作成 ○一人一人の状況に応じた指導の推進</p>		
担当課名	教職員課 人事担当 特別支援教育課 指導推進担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5835

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	府立高校特別支援教育支援員配置事業費						
予算額	10,032千円	新規・継続の別	継続				
事業内容	<p>1 目的</p> <p>府立高校に在籍する発達障害等がある生徒への支援体制を整備し、府立高校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>2 内容</p> <p>発達障害等のある生徒への支援体制の整備のため、府立高校特別支援教育支援員を配置する。</p> <table border="1" data-bbox="427 1249 1375 1675"> <tr> <td data-bbox="427 1249 683 1429">配置形態</td> <td data-bbox="683 1249 1375 1429">府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師4名程度】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1429 683 1675">活用方法</td> <td data-bbox="683 1429 1375 1675">実習や授業における個別指導 複数の教員による指導 (チームティーチング)</td> </tr> </table>			配置形態	府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師4名程度】	活用方法	実習や授業における個別指導 複数の教員による指導 (チームティーチング)
配置形態	府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師4名程度】						
活用方法	実習や授業における個別指導 複数の教員による指導 (チームティーチング)						
担当課名	教職員課 人事担当 高校教育課 指導第1担当 特別支援教育課 指導推進担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5851 075-414-5835				

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	豊かな心を育てる教育推進事業費																	
予算額	22,450千円	新規・継続の別	継続															
事業内容	<p>1 目的 体験活動等を通じて、子どもたちに豊かな人間性をはぐくむため、家庭や地域社会等との連携を図りながら、総合的な施策を推進する。</p> <p>2 内容 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="355 1032 1458 1715"> <thead> <tr> <th data-bbox="355 1032 683 1095">事項</th> <th data-bbox="683 1032 1299 1095">内容</th> <th data-bbox="1299 1032 1458 1095">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="355 1095 683 1346">KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業</td> <td data-bbox="683 1095 1299 1346">府内の小・中学校で実施 ・地域の伝統や文化に関する体験活動 ・仕事に関する体験活動 ・ボランティア活動</td> <td data-bbox="1299 1095 1458 1346">15,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 1346 683 1464">子どもの読書活動の推進</td> <td data-bbox="683 1346 1299 1464">子ども読書本のしおりコンテストの実施</td> <td data-bbox="1299 1346 1458 1464">250</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 1464 683 1653">「京の子ども 明日へのとびら」の作成</td> <td data-bbox="683 1464 1299 1653">心の教育の重要性に鑑み、京都の英知を結集した、豊かな人間性をはぐくむ学習資料集の作成</td> <td data-bbox="1299 1464 1458 1653">7,200</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="355 1653 1299 1715">計</td> <td data-bbox="1299 1653 1458 1715">22,450</td> </tr> </tbody> </table>			事項	内容	事業費	KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業	府内の小・中学校で実施 ・地域の伝統や文化に関する体験活動 ・仕事に関する体験活動 ・ボランティア活動	15,000	子どもの読書活動の推進	子ども読書本のしおりコンテストの実施	250	「京の子ども 明日へのとびら」の作成	心の教育の重要性に鑑み、京都の英知を結集した、豊かな人間性をはぐくむ学習資料集の作成	7,200	計		22,450
事項	内容	事業費																
KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業	府内の小・中学校で実施 ・地域の伝統や文化に関する体験活動 ・仕事に関する体験活動 ・ボランティア活動	15,000																
子どもの読書活動の推進	子ども読書本のしおりコンテストの実施	250																
「京の子ども 明日へのとびら」の作成	心の教育の重要性に鑑み、京都の英知を結集した、豊かな人間性をはぐくむ学習資料集の作成	7,200																
計		22,450																
担当課名	学校教育課 指導第2担当 社会教育課 社会教育主事	電話番号	075-414-5840 075-414-5886															

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

文化スポーツ部・教育委員会

事業名	いじめ防止対策等推進事業費		
予算額	320,330千円 (うち2月補正 28,000千円)	新規・継続の別	一部新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 いじめ、不登校、問題行動や少年による凶悪犯罪の発生などが社会問題となっていることを踏まえ、学校等における問題の早期発見や児童生徒、保護者の相談に対応する総合的なサポート体制（相談体制）を充実するとともに、いじめ、不登校対策や生徒指導の充実を図る。		
	2 内容 (単位：千円)		
	事項	内容	事業費
	○未然防止から早期解消に向けて		
	いじめ未然防止・早期解消支援チーム設置	専門家等によるチームが学校の対応状況の点検や第三者的立場で解決に向けた調整を実施	1,000
	○未然防止		
	規律ある行いを実践する教育推進事業	法をはじめ、実生活でのルールや決まりについて、自ら考え、理解した上で、態度や行動に移せる能力を育成	2,500
	○早期発見・相談体制		
	スクールカウンセラーの配置	臨床心理士による児導生徒、教職員、保護者へのカウンセリング	212,443
	心の居場所サポーターの配置	相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターを配置	19,673
	24時間電話相談等の実施	24時間電話相談、トータルアドバイスセンター教育相談、家庭教育相談等の実施	28,876
	私立学校修学相談センター支援事業	いじめ問題等の解決を促進するため、私立学校が共同設置する相談機関への助成	4,500
	ネットいじめ対策	学校非公式サイトなどネット上の監視	12,009
	○早期解決に向けた対応		
	いじめ早期対応緊急指導教員の配置	いじめにより大きな課題が生じている学校に緊急に教員（非常勤講師）を配置し、学校体制の強化を図る。	—
○重大事案への対応			
いじめ危機管理チームの派遣	深刻ないじめ事象が発生した学校へ、学校機能の回復や支援を行うためのチームを派遣	1,000	
○組織の設置			
いじめ対応のための附属機関等の設置	いじめ防止対策推進法に規定する調査審議の実施及び重大事態の調査を実施する附属機関等を設置	1,734	
○不登校対策の充実			
不登校児童生徒支援モデル事業<2月補正>【新規】	・フリースクール等で学ぶ不登校児童生徒への支援や適応指導教室の設置・機能拡充を支援	28,000	
ふれあい宿泊学習、学校不適應の未然防止に係る調査研究等を実施		8,595	
計		320,330	
担当課名	文教課 小・中・高校担当 学校教育課 指導第2担当 高校教育課 指導第1担当 社会教育課 社会教育主事	電話番号	075-414-4517 075-414-5840 075-414-5851 075-414-5886

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	少年非行防止対策事業費											
予算額	13,347 千円	新規・継続の別	継続									
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 目的 児童生徒の暴力行為等の問題行動の早期解決を図るため、未然防止の観点から対策を実施する。</p> <p>2 内容 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="322 1066 1465 1594"> <thead> <tr> <th data-bbox="322 1066 676 1124">事項</th> <th data-bbox="676 1066 1319 1124">内容</th> <th data-bbox="1319 1066 1465 1124">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="322 1124 676 1359">小学校段階での問題行動等の未然防止の推進</td> <td data-bbox="676 1124 1319 1359">「まなび・生活アドバイザー」の配置 課題を抱える児童に対する家庭支援などの個別指導及び生徒指導体制の強化 ※課題のある中学校の管内小学校に配置</td> <td data-bbox="1319 1124 1465 1359">13,347</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1359 676 1594">課題の多い学校の生徒指導体制の強化</td> <td data-bbox="676 1359 1319 1594">生徒指導緊急指導教員の配置 暴力行為の多発等課題の多い学校に緊急的に教員を配置し、生徒指導を強化 ※非常勤講師の配置</td> <td data-bbox="1319 1359 1465 1594">—</td> </tr> </tbody> </table>			事項	内容	事業費	小学校段階での問題行動等の未然防止の推進	「まなび・生活アドバイザー」の配置 課題を抱える児童に対する家庭支援などの個別指導及び生徒指導体制の強化 ※課題のある中学校の管内小学校に配置	13,347	課題の多い学校の生徒指導体制の強化	生徒指導緊急指導教員の配置 暴力行為の多発等課題の多い学校に緊急的に教員を配置し、生徒指導を強化 ※非常勤講師の配置	—
事項	内容	事業費										
小学校段階での問題行動等の未然防止の推進	「まなび・生活アドバイザー」の配置 課題を抱える児童に対する家庭支援などの個別指導及び生徒指導体制の強化 ※課題のある中学校の管内小学校に配置	13,347										
課題の多い学校の生徒指導体制の強化	生徒指導緊急指導教員の配置 暴力行為の多発等課題の多い学校に緊急的に教員を配置し、生徒指導を強化 ※非常勤講師の配置	—										
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5840									

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	効果の上がる学力対策事業費			
予算額	96,516千円	新規・継続の別	一部新規	
事業内容 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>目的</p> <p>対象</p> <p>方法等</p> </div>	<p>1 目的 児童生徒に確かな学力が身につくよう、基礎基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。</p> <p>2 内容 (単位：千円)</p>			
	事項	内容	事業費	
	理科教育推進事業 【新規】	理科の観察実験の機会確保と質の向上に向けた理科支援員の配置や大学教授等による指導助言を行うことにより、理科の学力向上を図る。	8,000	
	小学生個別補充学習 (ジュニア・わくわくスタ) 【拡充】	学習内容が高度化する小学5年生段階のつまずきを解消するため、小学5年生に加え、新たに小学4年生で補充学習を実施 (教科：国語、算数等)	10,000	
	中1振り返り集中学習「ふりスタ」	中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図る。(教科：国語、算数等)	30,000	
	中2学力アップ集中講座	土曜日を活用しながら、中学2年生段階における基礎学力の定着と、発展学習のための集中学習を実施(教科：国語、数学等)	10,500	
	小・中学校学力診断テストの実施	府内小中学校の児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導及び授業改善に役立てる。		23,400
		小学校	中学校	
		対象：第4学年 教科：国語・算数	対象：第1・2学年 教科：国語・数学、英語(中2)	
	中学生読解力向上対策	「読む力」「書く力」を実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、中学生を対象とした小論文グランプリ等を実施	1,116	
大学の先生に学ぼう体験事業	大学と連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成するため、出前や受け入れによる体験授業等を実施	5,500		
学力向上システム開発校等	学校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等を実施し、その成果の波及により府全体の学力向上を推進	8,000		
	計	96,516		
担当課名	学校教育課 指導第1担当 学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5842 075-414-5840	

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	京都市「学力向上教育サポーター」事業費		
予算額	131,905千円 (うち2月補正 44,714千円)	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>● 京都市「効果のある学校」推進事業 新規 <2月補正> 13,000千円</p> <p>1 目的 困難な状況に置かれている児童生徒をはじめ、すべての児童生徒の基礎学力の充実と希望進路の実現をめざす学校モデルを構築する。</p> <p>2 内容 小中学校に「学校体制づくり」、「発達障害・不登校」、「幼児教育」の3分野の専門家チーム（「教育力向上型」サポーター）を派遣するとともに、学区の地域をつなぐ「地域ネットワーク型」サポーターを配置し、学力課題の調査・分析や指導、地域のネットワークづくりを実施</p> <p>● 子どもの学習・生活支援プラットフォーム事業 <一部2月補正></p> <p>(1) 31,714千円 (2) 87,191千円</p> <p>1 目的 (1) 福祉等の専門家を学校に派遣し、必要な学習支援、福祉施策につなぐためのケース会議を開催できる体制を整備する。 (2) 府内の小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」を配置することにより、児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び学習習慣の定着を図る。</p> <p>2 内容 (1) 子どもの状況に応じて、教育的、福祉的観点から学習・生活支援策を検討・実施できるよう、学校に社会福祉士、臨床心理士等を派遣 <2月補正> (2) 小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」を配置し、子どもの生活・学習習慣の確立を支援（㊸小学校21人、中学校18人）</p>		
担当課名	学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5840

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	こころを育む古典の日推進事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 〕 〔 対象 〕 〔 方法等 〕	<p>1 目的 古典の日(11月1日)を中心に、小・中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会を行うことにより、児童生徒が古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで言語力の向上を図る。</p> <p>2 内容 小・中学生による朗読・暗唱大会の開催 ▷源氏物語をはじめ伝統的な言語文化に関する古典作品等の朗読・暗唱 ▷児童生徒の随筆・小論文等の音読発表、プレゼンテーションによる学習成果の発表 ▷言語力の育成等に関する講演等 ▷高校生や保護者・地域の方などより多くの方が参加できる大会として教育局ごとに実施</p>		
担当課名	学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5840

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	「もうすぐ1年生」体験入学推進費		
予算額	2,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的</p> <p>小学校入学後の生活・学習習慣の変化に対応することができない「小1プロブレム」などの課題に対応するため、小学校において体験入学事業を推進することにより、保育所、幼稚園から小学校への円滑な接続を図る。</p> <p>2 内容</p> <p>体験入学事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市町村が実施する体験入学事業への助成 ◆ 対象：体験入学事業を実施する府内の小学校 ◆ 負担割合：府1/2、市町村1/2 ◆ 対象内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度の新1年生を対象とした1週間程度の体験入学 ・ 実施方法等を検討する推進協議会の設置 		
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> 目的 対象 方法等 </div>	担当課名	学校教育課 指導第1担当	電話番号 075-414-5842

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	京都次世代グローバル人材育成事業費		
予算額	254,200千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 高校生の海外留学支援等を通じて、コミュニケーション能力や多様な文化を理解し尊重する資質や能力を備え、国際社会で活躍できるグローバル人材を育成する。		
	2 内容 (単位:千円)		
	事項名	内容	事業費
	① 英語教育のための基盤強化		216,900
	英語教育人材育成強化事業	中学校教員の英語力向上 新規 新学習指導要領の全面実施に向けて、TOEIC受験による英語力把握、研修機関による集中セミナーを実施	7,500
		教員の英語指導力向上 外部専門機関と連携して中核教員を養成	2,385
		英語教育強化地域拠点における課題研究 小学校英語教育の教科化等を研究	3,415
	英語指導助手の配置	JETプログラムを活用し、全府立高校にAETを配置	203,600
	② 高校生の海外留学支援等		34,300
	府立高校生グローバルチャレンジ事業	英国エディンバラ語学研修 (30人) 友好提携を結ぶエディンバラ市でのスピーキングなどの本格的な短期留学に助成	7,500
		オーストラリア語学研修 (40人) 現地高校での授業受講等の短期留学に助成	8,000
		海外短期留学チャレンジ (15人) 海外で様々な事にチャレンジするための短期留学に助成	3,000
		海外短期派遣支援等	6,100
	府立高校「海外サテライト校」事業 拡充	中期留学を実施 (米・豪・加 2~4箇月程度 10人) 現地履修科目を在籍校の履修単位として認定など安心して留学できる環境を確保	8,930
	国際バカロレア調査研究	海外の大学入学資格が得られる国際バカロレアの教育システムを研究	770
③ 多様な文化の理解促進		3,000	
府立高校生グローバル文化カフェ事業 新規	教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」を実施 (例) 英語による観光ガイド 京料理等の伝統文化共同体験 等	3,000	
計		254,200	
担当課名	学校教育課 企画振興担当 指導第2担当 高校教育課 振興担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5831 075-414-5840 075-414-5815 075-414-5852

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	夢に応えられる府立高校づくり事業費																																									
予算額	126,437千円	新規・継続の別	一部新規																																							
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的 「府立高校特色化推進プラン」に基づき、生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育の実践により、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、希望進路の実現を図る。</p> <p>2 事業概要 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>概要</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【拡充】 スーパーグローバル ハイスクール設置事業</td> <td>・国際的に活躍できる人材の育成や教育課程を開発</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>【新規】 スーパープロフェッショナル ハイスクール設置事業</td> <td>・先進的で卓越した取組を行う専門高校での研究開発支援</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>京都フロンティア校 支援事業</td> <td>・地域連携やICT活用の推進など、各高校の特色づくりに向けた先進的な取組を支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【新規】 地域創生推進校</td> <td>・地域創生、地域連携に重点的に取り組む学校を支援</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>京都フロンティア校</td> <td>・各校の特色に応じたテーマに基づく独自の取組を支援</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>スーパーサイエンス ネットワーク京都</td> <td>・大学の研究員等と高校生が共同研究を実施 ・研究者による特別講義や教科指導を実施</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>グローバル ネットワーク京都</td> <td>・グローバル企業社員等からの講義等を実施 ・高校生による研究論文コンテストを実施</td> <td>3,468</td> </tr> <tr> <td>スペシャリスト ネットワーク京都</td> <td>・民間企業と連携した商品開発や6次産業化に向けた実践的学習を実施</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>数学オリンピック等 チャレンジ事業</td> <td>・数学や物理の国際大会へのチャレンジを支援 ・京都大学と連携し大会参加に向けた「道場」を開設</td> <td>3,952</td> </tr> <tr> <td>高校生学習チャレンジ サポート事業</td> <td>・府立高校のPC教室等で受講できる進学予備校のコンテンツを活用した学習指導を実施</td> <td>25,544</td> </tr> <tr> <td>京都フレックス学園 構想推進事業</td> <td>・府立清明高校における教育環境充実のための支援</td> <td>12,473</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>126,437</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	概要	事業費	【拡充】 スーパーグローバル ハイスクール設置事業	・国際的に活躍できる人材の育成や教育課程を開発	30,000	【新規】 スーパープロフェッショナル ハイスクール設置事業	・先進的で卓越した取組を行う専門高校での研究開発支援	20,000	京都フロンティア校 支援事業	・地域連携やICT活用の推進など、各高校の特色づくりに向けた先進的な取組を支援		【新規】 地域創生推進校	・地域創生、地域連携に重点的に取り組む学校を支援	9,000	京都フロンティア校	・各校の特色に応じたテーマに基づく独自の取組を支援	9,000	スーパーサイエンス ネットワーク京都	・大学の研究員等と高校生が共同研究を実施 ・研究者による特別講義や教科指導を実施	9,000	グローバル ネットワーク京都	・グローバル企業社員等からの講義等を実施 ・高校生による研究論文コンテストを実施	3,468	スペシャリスト ネットワーク京都	・民間企業と連携した商品開発や6次産業化に向けた実践的学習を実施	4,000	数学オリンピック等 チャレンジ事業	・数学や物理の国際大会へのチャレンジを支援 ・京都大学と連携し大会参加に向けた「道場」を開設	3,952	高校生学習チャレンジ サポート事業	・府立高校のPC教室等で受講できる進学予備校のコンテンツを活用した学習指導を実施	25,544	京都フレックス学園 構想推進事業	・府立清明高校における教育環境充実のための支援	12,473	合 計		126,437
	事業名	概要	事業費																																							
	【拡充】 スーパーグローバル ハイスクール設置事業	・国際的に活躍できる人材の育成や教育課程を開発	30,000																																							
	【新規】 スーパープロフェッショナル ハイスクール設置事業	・先進的で卓越した取組を行う専門高校での研究開発支援	20,000																																							
	京都フロンティア校 支援事業	・地域連携やICT活用の推進など、各高校の特色づくりに向けた先進的な取組を支援																																								
	【新規】 地域創生推進校	・地域創生、地域連携に重点的に取り組む学校を支援	9,000																																							
	京都フロンティア校	・各校の特色に応じたテーマに基づく独自の取組を支援	9,000																																							
	スーパーサイエンス ネットワーク京都	・大学の研究員等と高校生が共同研究を実施 ・研究者による特別講義や教科指導を実施	9,000																																							
	グローバル ネットワーク京都	・グローバル企業社員等からの講義等を実施 ・高校生による研究論文コンテストを実施	3,468																																							
	スペシャリスト ネットワーク京都	・民間企業と連携した商品開発や6次産業化に向けた実践的学習を実施	4,000																																							
	数学オリンピック等 チャレンジ事業	・数学や物理の国際大会へのチャレンジを支援 ・京都大学と連携し大会参加に向けた「道場」を開設	3,952																																							
	高校生学習チャレンジ サポート事業	・府立高校のPC教室等で受講できる進学予備校のコンテンツを活用した学習指導を実施	25,544																																							
	京都フレックス学園 構想推進事業	・府立清明高校における教育環境充実のための支援	12,473																																							
合 計		126,437																																								
担当課名	高校教育課 振興担当 指導第1担当 指導第2担当 高校改革担当	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852 075-414-5853																																							

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	高校生等修学支援事業費			
予算額	6,181,677千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 教育の機会均等を図るため、修学資金や就学支援金などにより高校生の修学を支援する。			
	2 内容 (単位：千円)			
		事項	内容	事業費
		高等学校等修学資金貸与	・修学金(月額、上限) 国公立 自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円 私立 自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円 ・修学支度金(入学一時金、定額) 国公立 50,000円 私立 250,000円	1,675,814
		定通教科書等給与	定時制・通信制課程に通う生徒への教科書給与等	7,886
		定通修学奨励金貸与	定時制・通信制課程に通う生徒への修学奨励金の貸与	12,698
		高等学校生徒通学費補助	多額の通学費を要する生徒の保護者負担を軽減するための補助	6,500
		奨学のための給付金	市町村民税非課税世帯に対して、授業料以外の教育費を給付(国公立高校等) 単価：32,300～129,700円/年	504,041
		「学び直し」応援事業	高校等中途退学者の学び直しに係る授業料を支援	3,564
		公立高校就学支援金	所得基準未満の世帯に対し、就学支援金により授業料を実質無償化	3,971,174
	合 計		6,181,677	
担当課名	高校教育課 修学支援担当	電話番号	075-574-7518	

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	高校生「京の文化力」推進事業費											
予算額	9,000千円	新規・継続の別	継続									
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 目的 府立高校の文化部活動への支援等を通じて、京都文化の次世代への継承を図るとともに、京都ならではの文化をはぐくむ。</p> <p>2 内容 (単位：千円)</p>											
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">事 項</th> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">事 業 費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化の次世代への継承</td> <td> <p>■高校文化部の強化指定による育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強化・育成を目指す高校の文化部を指定(19部門) ・高い専門性を有する外部指導者による指導 <p>■強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加</p> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">4,000</td> </tr> <tr> <td>芸術文化活動の推進・京都府高等学校文化連盟への助成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ◆京都府高等学校総合文化祭の開催 ◆各部門の優秀校による発表等 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">5,000</td> </tr> </tbody> </table>			事 項	内 容	事 業 費	文化の次世代への継承	<p>■高校文化部の強化指定による育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強化・育成を目指す高校の文化部を指定(19部門) ・高い専門性を有する外部指導者による指導 <p>■強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加</p>	4,000	芸術文化活動の推進・京都府高等学校文化連盟への助成	<ul style="list-style-type: none"> ◆京都府高等学校総合文化祭の開催 ◆各部門の優秀校による発表等 	5,000
	事 項	内 容	事 業 費									
文化の次世代への継承	<p>■高校文化部の強化指定による育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強化・育成を目指す高校の文化部を指定(19部門) ・高い専門性を有する外部指導者による指導 <p>■強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加</p>	4,000										
芸術文化活動の推進・京都府高等学校文化連盟への助成	<ul style="list-style-type: none"> ◆京都府高等学校総合文化祭の開催 ◆各部門の優秀校による発表等 	5,000										
<p>《19部門》</p> <p>演劇、合唱、吹奏楽、器楽、邦楽、バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、吟詠剣詩舞、郷土芸能、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、茶道、自然科学</p>												
担当課名	高校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5852									

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	高校生伝統文化事業費								
予算額	20,000千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的 日本・郷土の伝統文化を尊重する態度の育成にあたり、京都府にゆかりの深い茶道や華道及び古典にまつわる活動を取り上げ、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かに生きる力をはぐくむ。</p> <p>2 内容 茶道・華道・古典を通して伝統文化の学習を推進する。 ○京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心の育成 ○礼儀作法を通じての、規範意識や社会性の育成 ○人を思いやり、尊重する心の育成 ○豊かな感性、情緒の育成 ○優れた価値を有する古典に親しむ心と態度の育成</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="336 1402 1410 1783"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 1402 649 1503">事項</th> <th data-bbox="649 1402 1198 1503">内容</th> <th data-bbox="1198 1402 1410 1503">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1503 649 1783">茶道・華道・古典を通しての伝統文化の学習</td> <td data-bbox="649 1503 1198 1783"> ◆ 茶道 全府立高校47校で実施 ◆ 華道 府立高校20校程度で実施 ◆ 古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等) </td> <td data-bbox="1198 1503 1410 1783">20,000</td> </tr> </tbody> </table>			事項	内容	事業費	茶道・華道・古典を通しての伝統文化の学習	◆ 茶道 全府立高校47校で実施 ◆ 華道 府立高校20校程度で実施 ◆ 古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等)	20,000
事項	内容	事業費							
茶道・華道・古典を通しての伝統文化の学習	◆ 茶道 全府立高校47校で実施 ◆ 華道 府立高校20校程度で実施 ◆ 古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等)	20,000							
担当課名	高校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5852						

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	確かな学力を身につけるための支援事業費		
予算額	42,974 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 生徒一人一人の能力・個性を伸ばすための学力と、学校生活の基礎・基本の向上と定着を図り、「確かな学力」の学習活動につながる取組を支援する。		
	2 事業概要 (単位：千円)		
	事業名	概要	事業費
	■ 学力分析		
	府立高校実力テスト	・学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るとともに、適切な希望進路の実現に役立てる。	21,916
	■ 学力向上		
	府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業	・義務教育段階の学び直しが必要な生徒の学習不安を解消し、学力不足による中退等の減少や学習意欲の向上による希望進路実現を図る。	1,000
	基礎学力補習	・学習習慣の確立、基礎基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実を目指す取組を支援	1,030
	進路補習	・生徒の希望進路を実現するため、進学・就職等希望進路に対応したコース別補習の実施や、資格取得等促進に向けた取組を支援	2,930
	学習合宿	・夏季・冬季休業期間中等に学習合宿を実施し、学習習慣の確立や学習意欲の向上を図り、希望進路の実現に必要な学力を育成	14,000
大学連携教育プログラム	・高校の企画に適した大学や教授をコーディネートし、魅力ある学習活動を支援	348	
大学生教育ボランティア活用事業	・教職を目指す大学生等をボランティアとして受け入れ、授業補助や個別指導補助として活用	1,750	
合 計		42,974	
担当課名	高校教育課 振興担当 指導第1担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	明日の京都を担う高校生育成支援事業費		
予算額	14,478千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 社会で生きていくために、すべての高校生が身につけておくべき考え方や知識の習得を支援し、社会の担い手として必要な「生きる力」の育成を図る。		
	2 内容 (単位:千円)		
	事業名	概要	事業費
	主権者としての高校生育成支援事業 【新規】	・全府立高校において、模擬選挙等を実施し、有権者として必要な政治的教養の育成を図る。	3,100
	新入生アシストセミナー	・新入生を対象として、高校生としての基本的な規律を身につけ、高校における学習習慣の基本を身につけるための取組を支援	1,560
	社会的素養育成支援事業	・大学の研究者、専門性の高い職業人などの外部人材を活用し、生徒の学習意欲等の向上を図る。	2,318
	わたしの未来づくり支援事業	・職業体験などにより職業観を育成するとともに、働く上で必要な労働法規などの社会的知識の習得を図る。	3,500
高校生地域とつながる事業	・府立高校生のボランティア活動を支援（「森の京都」関連事業への協力等）	4,000	
合 計		14,478	
担当課名	高校教育課 振興担当 指導第1担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	子どものための地域連携事業費		
予算額	70,664千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	1 目的 学校・家庭・地域が連携・協働し、地域社会全体で教育支援活動を実施するために、様々な事業に取り組む。		
	2 内容 (単位：千円)		
	事項	内容	事業費
	京のまなび教室推進事業	子どもたちの安心・安全な居場所となる「京のまなび教室」の開設を支援し、放課後等の体験活動・学習活動等の充実を図る。 ・宿題等自学自習 ・異世代交流 ・地域の伝統行事参加 等	41,875
	地域で支える学校教育推進事業	学校のニーズに応じた教育支援活動を展開するため、地域ぐるみで学校を支える「学校支援地域本部」の設置を支援する。 ・授業の学習補助 ・花壇などの環境整備 ・登下校安全指導 等	19,289
地域未来塾開設支援事業	学習が遅れがちな中学生等を対象とした原則無料の学習支援を行う「地域未来塾」の開設を支援する。	6,726	
土曜日の教育支援体制等構築事業	土曜日の教育環境の充実を図るため、社会人、企業、団体等の協力を得て、土曜日等に体系的・継続的なプログラムを実施する。	2,774	
担当課名	社会教育課 振興担当 社会教育主事	電話番号	075-414-5884 075-414-5889

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	家庭教育支援事業費								
予算額	3,300千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 目的 家庭教育はすべての教育の出発点であり、保護者が自信を持ち安心して子どもの教育にかかわれるよう、家庭教育に関する学習の支援、サポート体制の充実、ネットワークづくりを進める。</p> <p>2 内容</p> <table border="1" data-bbox="376 969 1414 1776"> <thead> <tr> <th data-bbox="376 969 541 1014">事項</th> <th data-bbox="541 969 1414 1014">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="376 1014 541 1395"> 親のための学習活動支援事業 </td> <td data-bbox="541 1014 1414 1395"> 子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習資料を作成し、親の学習活動を支援する。 ○資料内容 子育てに悩む保護者へのメッセージ 子育てに関するQ & A・相談機関の紹介 など ○活用方法 子育て講座等に参加した保護者等に配布 子育てについて考える「きっかけ」としてこの資料を活用 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1395 541 1776"> 家庭教育支援基盤形成事業 </td> <td data-bbox="541 1395 1414 1776"> 家庭教育に関する情報や学習機会の提供、家庭教育支援チーム等の活動を行う市町(組合)教育委員会に対する支援。 ○市町村実施事業(補助事業) 家庭教育支援チーム活動の普及・定着 子育てに係る学習機会の提供 ○府実施事業 京都府家庭教育支援協議会の設置 指導者等研修の実施(教育局単位) </td> </tr> </tbody> </table>			事項	内 容	親のための学習活動支援事業	子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習資料を作成し、親の学習活動を支援する。 ○資料内容 子育てに悩む保護者へのメッセージ 子育てに関するQ & A・相談機関の紹介 など ○活用方法 子育て講座等に参加した保護者等に配布 子育てについて考える「きっかけ」としてこの資料を活用	家庭教育支援基盤形成事業	家庭教育に関する情報や学習機会の提供、家庭教育支援チーム等の活動を行う市町(組合)教育委員会に対する支援。 ○市町村実施事業(補助事業) 家庭教育支援チーム活動の普及・定着 子育てに係る学習機会の提供 ○府実施事業 京都府家庭教育支援協議会の設置 指導者等研修の実施(教育局単位)
事項	内 容								
親のための学習活動支援事業	子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習資料を作成し、親の学習活動を支援する。 ○資料内容 子育てに悩む保護者へのメッセージ 子育てに関するQ & A・相談機関の紹介 など ○活用方法 子育て講座等に参加した保護者等に配布 子育てについて考える「きっかけ」としてこの資料を活用								
家庭教育支援基盤形成事業	家庭教育に関する情報や学習機会の提供、家庭教育支援チーム等の活動を行う市町(組合)教育委員会に対する支援。 ○市町村実施事業(補助事業) 家庭教育支援チーム活動の普及・定着 子育てに係る学習機会の提供 ○府実施事業 京都府家庭教育支援協議会の設置 指導者等研修の実施(教育局単位)								
担当課名	社会教育課 振興担当 社会教育主事	電話番号	075-414-5884 075-414-5886						

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	少子化対策総合戦略事業費 (子育て学習プログラム推進事業)		
予算額	7,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 〕 〔 対象 〕 〔 方法等 〕	<p>1 目的 次代を担う高校生が、家族の大切さや子どもを生き育てる意義を学ぶために作成した子育て学習プログラムを授業で活用できる学習環境を整備する。</p> <p>2 内容 府立高校の家庭科、保健体育科、総合的な学習の時間等で、平成27年度に作成した「子育て学習プログラム」を活用した授業を実施。 府立高校の教員等を対象に、実際に助産師や妊婦、親子を招いた授業研究や、ライフデザインプログラム等の実践例から、「子育て学習プログラム」を授業等で活用するための実践研究会を実施。</p> <p>3 効果 「子育て学習プログラム」を活用した授業等において、妊婦や幼児等と触れあったり、子育て体験を聞き、結婚、出産、子育ての意義や家族の大切さを学ぶ中で、高校生等が自分の将来（職業、結婚、出産、親の介護等）を考え、ライフデザインを描くことを目指す。</p>		
担当課名	社会教育課 振興担当 社会教育主事	電話番号	075-414-5884 075-414-5886

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	特別支援学校職業教育等充実事業費		
予算額	25,264千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 特別支援学校児童生徒の職業的自立を促進し、希望進路を実現するための職業教育及び就労支援の充実を図る。		
	2 内容		
	事業名	内 容	事業費
	城陽支援学校職業 学科設置準備 【新規】	現行の府立城陽支援学校の通学高等部（普通科）を、生徒全員が企業就労を目指す「職業学科」へ学科改編するための関連教材・備品の整備 詳細 資料23-1	5,000
	特別学校就労支援 コーディネーターの配置	京都ジョブパークとの連携による生徒・保護者・教員対象の就労支援セミナーや企業見学の実施など、企業とのマッチング向上を図る就労支援体制の充実	—
	キャリア教育・就労 支援等の充実に係る 実践研究	労働等関係機関とのネットワーク構築や就労に向けた指導プログラムの開発など、早期からのキャリア教育及び職業教育の充実に係る実践研究	5,500
	「ふれあい・心のス テーション」事業	全特別支援学校が参加し、生徒自らが製作品の販売や実演を行い、府民との交流や企業理解の啓発を図る（障害者雇用支援月間(9月)に開催）	2,300
	職業教育設備の整備	職業教育内容の充実にに向けた作業学習用教材の新規・更新整備（木工・窯業機器等）	5,464
高等部生徒の進路 支援教員の配置	進路担当教員が労働等関係機関と連携し、卒業後の進路決定に一層取り組めるよう非常勤講師を配置	7,000	
担当課名	特別支援教育課 指導推進担当 教職員課 企画調整担当	電話番号	075-414-5835 075-414-5789

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	城陽支援学校職業学科設置準備																	
予算額	5,000千円	新規・継続の別	新規															
事業内容	<p>1 目的 特別支援学校児童生徒の職業的自立を促進し、障害のある生徒の中学校段階での進路選択の幅の拡大を図るため、産業構造の変化に対応した職業学科を創設する。</p> <p>2 内容 現行の府立城陽支援学校の通学高等部(普通科)を、生徒全員が企業就労を目指す「職業学科」へ学科改編するための関連教材・備品の整備を行う。</p> <p>（目的対象方法等）</p> <p><職業学科概要></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【新設】職業学科</th> <th>【現行】普通科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置予定</td> <td>平成29年度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>学科分野</td> <td>流通・サービス (製品管理、販売、清掃等)</td> <td>普通科(職業教育系) (木工、窯業、縫製等)</td> </tr> <tr> <td>募集定員</td> <td>学年20名程度</td> <td>学年16名程度</td> </tr> <tr> <td>通学区域等</td> <td colspan="2">山城教育局管内、自主通学が可能な者</td> </tr> </tbody> </table>				【新設】職業学科	【現行】普通科	設置予定	平成29年度	—	学科分野	流通・サービス (製品管理、販売、清掃等)	普通科(職業教育系) (木工、窯業、縫製等)	募集定員	学年20名程度	学年16名程度	通学区域等	山城教育局管内、自主通学が可能な者	
	【新設】職業学科	【現行】普通科																
設置予定	平成29年度	—																
学科分野	流通・サービス (製品管理、販売、清掃等)	普通科(職業教育系) (木工、窯業、縫製等)																
募集定員	学年20名程度	学年16名程度																
通学区域等	山城教育局管内、自主通学が可能な者																	
担当課名	特別支援教育課 指導推進担当	電話番号	075-414-5835															

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	特別支援教育総合推進事業費			
予算額	29,439千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 発達障害を含む障害のある子ども一人一人の教育ニーズに応じて、自立と社会参加を目指す一貫した特別支援教育を推進する。 特別支援学校における文化スポーツ活動やボランティア活動等を通して、共生社会の実現に向けた地域社会との交流及び理解啓発を推進する。			
	2 内容 (単位：千円)			
		事業名	内容	事業費
	地域支援	特別支援教育サポート拠点事業	特別支援教育の拠点となるスーパーサポートセンターにおいて、教員対象の専門的研修や専門家チーム(医師、作業療法士等)による教育相談・支援等を実施	5,400
	地域支援	地域等連携推進事業	全特別支援学校に設置する地域支援センターにおいて、専任コーディネーターや巡回相談支援チーム(校医、地域福祉関係者、小中学校教員等)による教育相談・支援を府内各地で実施	3,645
	研究	特別支援教育実践研究事業	特別支援教育の推進に係る実践研究(インクルーシブ教育システム構築に関わる教育課程の編成等)	6,000
	特別支援学校	文化スポーツ交流事業	児童生徒による芸術発表やスポーツ交流会等を通して、文化芸術及びスポーツに直接親しむ機会を創出するとともに、地域社会との交流を行う	4,705
	特別支援学校	ボランティア活動推進事業	児童生徒による地域でのボランティア活動や大学生教育ボランティアの受入等を実施	1,170
	特別支援学校	医療的ケア体制充実事業	特別支援学校における安心・安全な医療的ケア実施体制を整備するため、医療機関等と連携した喀痰吸引等研修の開催や運営組織を設置	4,152
	特別支援学校	校務事務の情報化推進事業	校務システムによる校務事務の効率化や円滑な移行支援など教育の質の向上を図る	1,367
高校	高等学校における特別支援教育の充実	聴覚障害のある生徒に対して学習補助システムを活用した授業を実施	3,000	
担当課名	特別支援教育課 指導推進担当 高校教育課 指導第1担当	電話番号	075-414-5835 075-414-5851	

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	京都式インクルーシブ教育システム推進事業費		
予算額	5,599千円	新規・継続の別	新規
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的</p> <p>平成28年度からの障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行等を踏まえ、府内小中学校及び府立高等学校におけるインクルーシブ教育システム（障害の有無に関わらず、すべての子どもが共に学ぶ仕組み）の推進を図る。</p> <p>2 内容</p> <p>小・中・高等学校に合理的配慮協力員（非常勤講師）を配置し、障害のある児童生徒一人一人の障害実態や特性に応じた支援・指導の内容のモデルづくりを実施する。</p> <p>(モデルの普及)</p> <p>合理的配慮の提供内容の検討、個別の指導計画・支援計画の作成及び授業のユニバーサルデザイン化に関わる支援など、サポート実践事例の蓄積や校内体制モデルを構築し、府内への成果普及を図る。</p>		
担当課名	特別支援教育課 指導推進担当 高校教育課 指導第1担当	電話番号	075-414-5835 075-414-5851

平成28年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	文化財対策費		
予算額	1,692,704千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 京都府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。		
	2 事業内容 (単位：千円)		
	事業名	内 容	事業費
	歴史的建造物等保存伝承事業費	国指定文化財、府指定・登録文化財等の保存事業を行い、歴史的建造物等の保存・継承を図る。	1,636,296
	建造物保存修理受託事業費	国指定文化財建造物の受託修理(次頁に内訳)	1,504,158
	建造物保存修理現場公開事業費	文化財保護に係る普及啓発のため、修理現場の公開を実施	1,200
	指定文化財等保存修理補助金	国及び府指定文化財等所有者が行う保存修理事業等に補助	68,000
	指定文化財等維持管理費補助事業費	国及び府指定文化財等所有者が行う維持管理事業等に補助	46,300
	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金	重要伝統的建造物群保存地区保存事業を行う市町に対する補助	6,900
	祇園祭山鉾保存修理事業費等補助金	重要有形民俗文化財である山鉾について山鉾保存会が行う緊急修理の負担軽減等	9,738
埋蔵文化財調査保存事業費	発掘調査の実施及び市町村が行う調査等へ補助し、文化財の保存・継承を図る。	56,408	
埋蔵文化財発掘調査費	農地などの開発事業に伴う発掘調査等を実施	25,600	
恭仁宮跡保存活用調査費	発掘調査成果を府民に還元するとともに、保存・活用に向けた遺構調査を実施	5,000	
埋蔵文化財発掘調査費等補助金	開発等に伴う緊急発掘調査や史跡買上等を行う市町村に対する補助	25,808	
計		1,692,704	
担当課名	文化財保護課 企画調整担当 建造物担当 管理調査担当 記念物担当	電話番号	075-414-5896 075-414-5898 075-414-5905 075-414-5903

平成28年度当初予算主要事項説明

教育委員会

事業名	歴史的建造物等保存伝承事業費 (建造物保存修理受託事業費)			
予算額	1,504,158千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 目的 方法等	◆ <u>京都府内の国宝・重要文化財建造物を受託修理(継続)</u>			
	1 目的 国庫補助を受けて行われる国宝・重要文化財建造物の保存修理について、文化財所有者からの委託を受けて、府が直営により実施			
	2 事業内容			
	文化財の名称	種別	工事種別	28年度の内容
	ちおんいん ほんどう しゅうえどう 知恩院(本堂・集會堂他)	国宝 重文	半解体修理 他	屋根瓦葺、縁廻り及び建具 補修、塗装修理等
	きよみずでら ほんどう 清水寺(本堂他)	国宝 重文	屋根葺替・ 部分修理他	奥院・阿弥陀堂の造作組立 等
	にん なじ かんのおんどう 仁和寺(観音堂他)	重文	半解体修理 他	観音堂の木部修理、屋根土 居葺等
	うらせんけしゅうたく 裏千家住宅	重文	解体修理他	軸部解体、繕い、組立、建 具修理、壁修理等
	きゆうみつつけしもがもべつてい 旧三井家下鴨別邸 (主屋ほか)	重文	屋根葺替・ 部分修理	主屋等の木部、造作修理等
	かもみおやじんじゃ あずかりや 賀茂御祖神社(預り屋他) 〔下鴨神社〕	国宝 重文	屋根葺替・ 部分修理	預り屋の屋根葺替、木部、 壁修理等
おうばいん ほんどう くり 黄梅院(本堂及び庫裏)	重文	屋根葺替・ 部分修理	屋根葺替、木部修理等	
ひようどういん ほうおうどうちゅうどう 平等院(鳳凰堂中堂)	国宝	部分修理	彩色塗装等修理	
計		8件	1,504,158千円	
担当課名	文化財保護課 建造物担当	電話番号	075-414-5898	

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進等事業費		
予算額	4,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 京都府内の公立学校における児童・生徒の一層の安心・安全を確保するため、生活安全、交通安全、災害安全の3分野について、安全対策を推進する。</p> <p>2 内容</p> <p>(1)子どもたちを見守る安全体制の整備 2,500千円 市町村補助事業(2/3補助) ○スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等の実施 ○スクールガード養成講習会の実施</p> <p>(2)実践的安全教育の総合支援 2,000千円 学校安全上の課題に対して取り組む学校の支援 ○交通安全教育の充実 自転車交通安全に係る教育手法の普及 ○自然災害に対する支援者としての視点の向上 防災学習先進校や被災地域との交流</p>		
担当課・担当名	保健体育課 健康安全教育的指導担当 健康安全教育的振興担当	電話番号	075-414-5872

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	食育推進事業費		
予算額	5,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的 学校における教育活動全体を通じた食育の推進を図るため、先進的な実践校の取組成果を府内に広く普及させる。</p> <p>2 内容 (1) 京都府食育推進委員会の設置等 学校給食未実施校を含むすべての学校で教育活動全体を通じた食育を推進するための支援策を検討するとともに、京都府スーパー食育スクールの成果を広く府内に波及させる方策や地産地消及び和食文化の継承に向けた方策について検討する。</p> <p>〔目的〕 <京都府食育推進委員会> 大学教授等外部有識者、小学校長、中学校長、栄養教諭、保健体育課職員等</p> <p>〔対象〕</p> <p>〔方法等〕 (2) 京都府スーパー食育スクール事業の実施 モデル校を指定し、小・中・高等学校における食育の実践的な取組を推進する。</p>		
担当課・担当名	保健体育課 健康安全教育指導担当 健康安全教育振興担当	電話番号	075-414-5872

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	京都府版マスタース大会開催費		
予算額	8,700千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕	<p>1 目的 京都府民総合体育大会にマスタース部門を設置し、より多くの成年・中高年の健康増進や生涯スポーツ推進に寄与するとともに、関西ワールドマスタースゲームズ2021に向けた機運の醸成を図る。</p> <p>2 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 参加対象者 おおむね50歳以上の府民 ○ 実施形態 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市町村対抗競技 13種目【継続】 府民総合体育大会のうち、市町村予選会が実施される競技にマスタース部門を設置 <li style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボール サッカー、ボウリング、ゲートボール、陸上競技、グラウンドゴルフ、ゴルフ ア 市町村予選会 府内26市町村の対抗により、市町村代表を選出 イ 府大会 市町村予選会で選出された代表の対抗戦 (2) 種目別競技 6種目【拡充】 府民総合体育大会のうち、市町村予選会が実施されない競技にマスタース部門を設置 		
担当課・担当名	保健体育課 スポーツ振興担当	電話番号	075-414-5864

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	未来のメダリスト創生事業費		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的 2020年東京オリンピック・パラリンピックを目指して、国内のトップレベルの競技力を有し、国際舞台で活躍が見込める京都府のジュニア層選手の育成・強化を図る。</p> <p>2 内容 当該年代で、将来、オリンピック等でのメダル獲得の可能性のある選手等を認定し、以下の強化支援を行うとともに、国やJOCの強化指定へ繋げる。</p> <p>(1) 未来のメダリスト候補選手の認定 対象：14歳から18歳の府内在住・在籍のジュニア選手 人数：20名程度 条件：現に海外や全国の大会で優秀な成績を収めている者</p> <p>(2) 強化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 選択プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・国内や海外から招へいしたトップコーチ等による指導や交流 ・海外遠征や国内遠征に対する経費補助（補助率1/2） ○ 学習プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・JOC講習会等への派遣（年1回程度） ○ 定期プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング指導（月2回） ・医科学サポート（月1回） 		
担当課・担当名	保健体育課 スポーツ振興担当	電話番号	075-414-5864

目的
対象
方法等

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	京のアスリート育成・強化総合推進費																																
予算額	246,500 千円	新規・継続の別	継続																														
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 トップアスリートや国体選手の養成強化を支援することで、府民スポーツの更なる振興と競技力の向上を図るとともに、ジュニア選手の育成強化と併せて、中・長期的視点で本府競技力の維持・向上を図る。																																
	2 内容 (単位：千円)																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>概要</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"> ■ パワフル京都推進事業 日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施 </td> </tr> <tr> <td>京とアスをつなぐ応援サポート事業</td> <td>企業が支える社会人選手の活動経費の一部を補助することにより選手を育成・強化</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td>ふるさと選手と「京の学生」支援事業</td> <td>ふるさと選手制度に登録した京都出身の大学生と、京都で学ぶ大学生を対象に、競技力の向上・強化を支援</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> ■ 国体選手養成強化事業 国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援 </td> </tr> <tr> <td>重点強化種目レベルアップ支援</td> <td>競技(種別)指定による重点的な強化支援を実施</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>ハイパフォーマンスサポート</td> <td>専門的な指導者派遣による質の高いサポートを実施</td> <td>21,100</td> </tr> <tr> <td>京の女性アスリート育成支援</td> <td>女性アスリート特有の課題解決に向けた効果的なサポートを実施</td> <td>7,600</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> ■ ジュニア選手育成強化事業 ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>246,500</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	概要	事業費	■ パワフル京都推進事業 日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施			京とアスをつなぐ応援サポート事業	企業が支える社会人選手の活動経費の一部を補助することにより選手を育成・強化	7,500	ふるさと選手と「京の学生」支援事業	ふるさと選手制度に登録した京都出身の大学生と、京都で学ぶ大学生を対象に、競技力の向上・強化を支援	9,000	■ 国体選手養成強化事業 国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援			重点強化種目レベルアップ支援	競技(種別)指定による重点的な強化支援を実施	4,000	ハイパフォーマンスサポート	専門的な指導者派遣による質の高いサポートを実施	21,100	京の女性アスリート育成支援	女性アスリート特有の課題解決に向けた効果的なサポートを実施	7,600	■ ジュニア選手育成強化事業 ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成			合 計		246,500
	事業名	概要	事業費																														
	■ パワフル京都推進事業 日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施																																
	京とアスをつなぐ応援サポート事業	企業が支える社会人選手の活動経費の一部を補助することにより選手を育成・強化	7,500																														
	ふるさと選手と「京の学生」支援事業	ふるさと選手制度に登録した京都出身の大学生と、京都で学ぶ大学生を対象に、競技力の向上・強化を支援	9,000																														
	■ 国体選手養成強化事業 国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援																																
	重点強化種目レベルアップ支援	競技(種別)指定による重点的な強化支援を実施	4,000																														
	ハイパフォーマンスサポート	専門的な指導者派遣による質の高いサポートを実施	21,100																														
京の女性アスリート育成支援	女性アスリート特有の課題解決に向けた効果的なサポートを実施	7,600																															
■ ジュニア選手育成強化事業 ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成																																	
合 計		246,500																															
担当課名	保健体育課 スポーツ振興担当	電話番号	075-414-5864																														